



両陛下が岩手の被災地を訪問

天皇、皇后両陛下は7月4日、東日本大震災の被災者のお見舞いのため、東北新幹線の臨時列車で本県入りされました。両陛下が本県を訪問するのは、2011年5月6日以来、2年ぶりです。
午後1時前に新花巻駅へ到着された両陛下を、達増若手県知事や、大石市長などが出迎え、あいさつ。駅前広場では、集まった多くの市民が笑顔で歓迎しました。
両陛下は、温かいまなざしで手を振りながら車に乗り、被災地へ向け出発されました。



駅前広場で出迎えた大勢の市民に笑顔で手を振られる天皇、皇后両陛下

花卓ジュニア三つの全国大会へ

少年少女卓球クラブ「花卓ジュニア」の皆さんが7月1日、三つの全国大会への出場を報告するため市役所を訪れました。
同チームは、市内の小学生と園児13人で構成。県予選で優勝や上位入賞を果たし、全国ホープス大会、全日本クラブ卓球選手権大会、全日本卓球選手権大会への切符を手に入れました。
「1回でも多く勝ちたい」「必ず予選を突破する」など一人一人決意や目標を力強く述べた選手皆さん。大舞台での活躍が楽しみです。



市長を囲み、全国大会への意気込みを見せる花卓ジュニアの皆さん

災害時の対応を学ぶ

松園町四区自主防災会による総合防災訓練が6月23日、花巻北中学校を中心に行われました。
訓練には地区住民、約390人が参加。震度6強の地震を想定して、避難経路を確認しながら避難訓練を行ったほか、消火、炊き出し、応急救護、搬送などの実技訓練が行われました。消火訓練では、消防職員の指導を受けながら、バケツや消火器を使い、消火活動を実践しました。
参加者たちはそれぞれの訓練に、災害時を想定しながら、真剣に取り組みました。



消火訓練で協力してバケツを運ぶ参加者の皆さん

国境越えた交流深まる

本市の交流都市、アメリカ合衆国ウィスコンシン州クリントン村の中学生など4人が7月7日までの9日間、本市を訪れ、体験研修などを通じて、日本文化に触れました。
7月1日に石鳥谷中学校で行われた学校見学では、研修生として一行が授業に参加。英語の授業では、同校生徒が英語で自分や学校のことを紹介したり、研修生に質問したりして交流を深めていました。
木村七生さん(3年)は、「自分の話すことがしっかり伝わっているのが分かって面白かった」と笑顔で話していました。



クリントン村の研修生に積極的に話しかけ、交流を深める石鳥谷中学校生徒の皆さん

勇壮華麗 山伏神楽が競演

第32回みちのく神楽大会(花巻地方神楽協会、市教委主催)が6月23日、石鳥谷生涯学習会館で開かれ、大勢の神楽ファンが詰め掛けました。
当日は、ユネスコ無形文化遺産の早池峰岳・大償両神楽を含む同協会の山伏神楽15団体が競演。土沢神楽の「鳥舞」を皮切りに、「三番叟」「岩戸開き」「権現舞」など、各団体が1演目ずつ、次々と披露しました。
観客の皆さんは、勇壮華麗な伝統の舞に酔いしれながら、大きな歓声や拍手を送っていました。



剣を手に、勇壮で力強い舞を披露した石鳥岡神楽

畜産振興と地元雇用に貢献

農業生産法人・有限会社うしちゃんファーム(本社宮城県石巻市)と本市との企業立地協定書調印式が6月27日、ホテルグランドシエール花巻で行われました。
牛飼育業と食肉販売業を展開する同社が花巻流通業務団地に飼料用倉庫と事務所を整備。地元から5人を採用し、来年3月に操業開始の予定です。協定書に調印した佐藤賀一社長は、「畜産振興と地元雇用に貢献し、販路も拡大したい」と意欲を見せました。
調印式に先立って、同社と都市再生機構との土地譲渡契約締結式も行われました。



調印後に握手する(左から)都市再生機構岩手・秋田都市開発事務所の安井俊二所長、佐藤社長、県企業立地推進課の飛鳥川和彦課長、市長